

もしもの時のために

災害対策ハンドブック

Ver.
2



日本は災害の多い国です。

このハンドブックを参考に普段から災害に備えておきましょう。

全国石油商業組合連合会 / 都道府県石油組合

もしもの時のために

車の燃料メーターが
半分程度になったら満タンに。
灯油は1缶多めに備えましょう。

【満タン&灯油プラス1缶運動（満タン運動）】

災害発生時の“安心”のために、車の燃料メーターが半分程度になったら満タンを心がける、暖房用の灯油は1缶多めに備えることを心がける、「満タン&灯油プラス1缶運動（満タン運動）」を、私たちは提案します。



主催：全国石油商業組合連合会・都道府県石油組合
協賛：石油連盟、公益社団法人全日本トラック協会、日本ガソリン計量機工業会
後援：内閣府政策統括官（防災担当）、資源エネルギー庁、国土交通省

様々な周知活動を行っています

ガソリンスタンド店頭やイベント、WEBメディア、SNSなどを通じて、本運動の重要性を伝えています。



＜ホームページ

ホームページやXも
ぜひご覧ください。

X＞



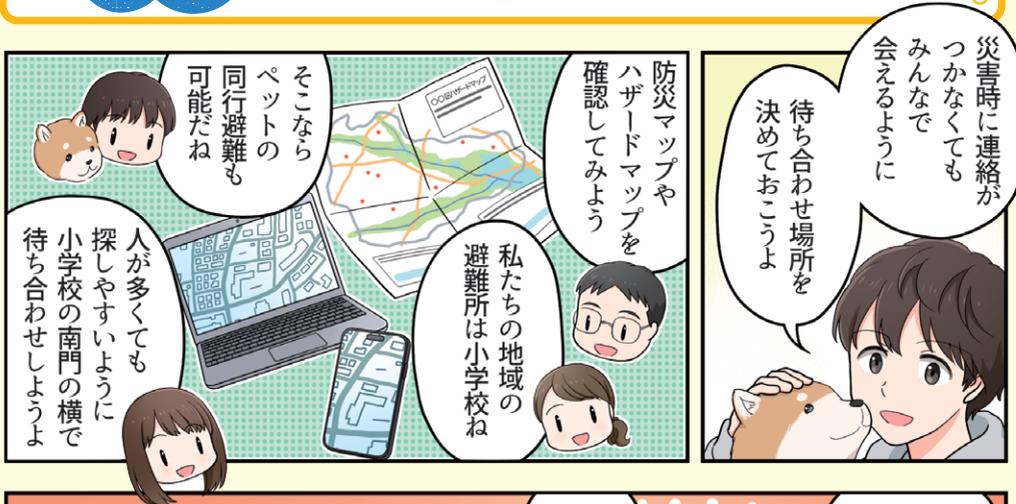
お問い合わせ

全国石油商業組合連合会

東京都千代田区永田町2-17-14 石油会館 mantan-undo@zensekiren.or.jp

もしもの時のために

家族の避難場所・避難経路を確認しておこう！



もしもの時のために

身を守るための家具の防災対策を確認しよう！



もしもの時のために

家族と連絡が取れる方法を確認しておこう！



もしもの時のために

非常時に持ち出すものや備蓄を確認しておこう！

非常用持ち出し袋を確認しておこう！

大きな災害が起きたときは避難所で生活することになるかもしれません。避難先で必要なものは自分たちで用意するのが基本です。



家族にとって必要なものを確認しよう
もちろんペットの分もね

- 水
- 食品
- 防災ヘルメット、防災ずきん
- 衣類、下着
- レインウェア
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 電池、携帯充電器
- マッチ、ライター、ろうそく
- 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、薬)
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手
- 洗面用具、歯ブラシ
- 携帯トイレ
- タオル
- 筆記用具、ハサミ、カッター
- 小さいこども
- ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、抱っこひも
- 女性
- 生理用品、防犯ブザー
- 高齢者
- 大人用おむつ、杖、入れ歯洗浄剤、持病の薬



家の備蓄を確認しておこう！

最低限の備蓄：家族の人数×3日分
※できれば1週間分を備えましょう

- 飲料水(1人1日3リットルが目安)
- 非常食(ご飯、ビスケット、板チョコ、乾パンなど)
- カセットコンロ、ボンベ(1人1日1本弱程度)
- トイレトーパー
- ライター、マッチ
- 懐中電灯
- 乾電池
- ごみ袋
- 簡易トイレ(消臭剤)など



ローリングストックを活用しましょう

日頃から自宅で食べているものを少し多めに備え、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を補充して常に新しい非常食を備蓄する方法です。



自宅の安全が確保されているれば在宅避難という選択もあるのよ

住み慣れた我が家にいられるのは安心感があるなあ

安全



そんな時のために

普段から備蓄してローリングストックをしています！

お母さん偉い！



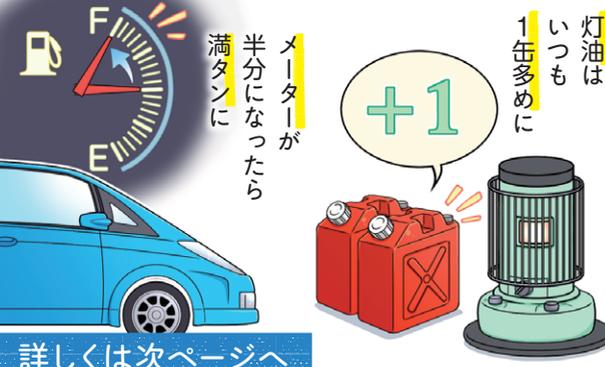
満タン&灯油プラス1缶運動

大地震や豪雨などの災害が発生すると燃料の入手が困難になります。普段から余裕をもって備えましょう。

メーターが半分になったら満タンに

灯油はいつも1缶多めに

+1



燃料の備蓄も忘れないように確認しよう

避難生活で車や暖房器具が使えらると色々助かるわね



これで家の備蓄はひとまず完了ね

次は非常用持ち出し袋を確認しよう



飲料用とは別に

生活用水としてお風呂の水やポリタンクに水道水を溜めておくのも必要だね

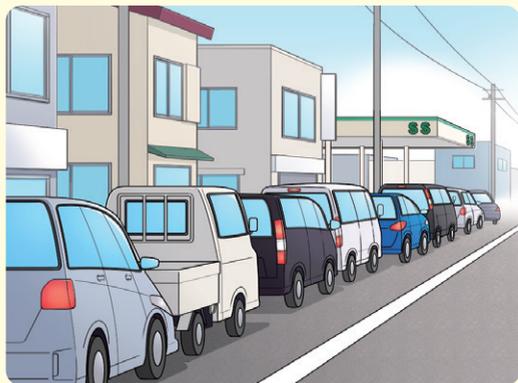


普段から燃料の備蓄をしておこう



パニックバイを回避できる

混雑するガソリンスタンドに並ぶ必要がなく、燃料切れの心配も軽減します。



クルマを避難所にする

冷暖房が使えるプライベートスペースとなり、車内ラジオからの情報収集やスマホの充電もできます。

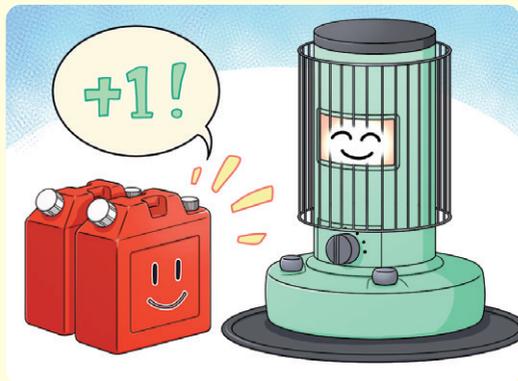


注意 積雪などで車のマフラーが塞がると、排気ガスが車体に入り込み一酸化炭素中毒で死亡事故が発生するケースもあります。長時間車内で過ごす場合は、マフラーの周辺を定期的に除雪するなど注意が必要です。眠る時はエンジンを切るようにしましょう。



供給断絶時の備えになる

灯油プラス1缶備えることで暖かい空間を長時間維持でき、災害時の安心度が高まります。

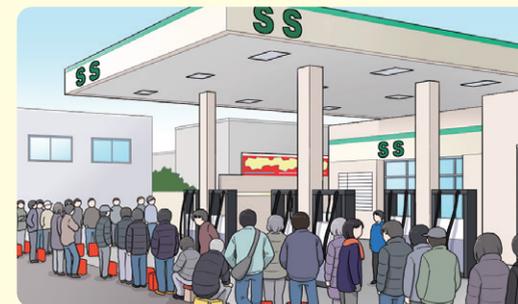


災害時は燃料の入手が困難になる場合があります



ガソリンスタンドに大行列

東日本大震災など過去の災害では、ガソリン、軽油、暖房用の灯油を求める人がガソリンスタンドに殺到しました。



供給不足が発生

交通網の遮断によってタンクローリーでの配送が困難になったり、一時的な在庫不足などで、希望の量を購入できない事態が発生する可能性があります。



ガソリンスタンドが営業不能

大雨による冠水や地震・大雪による道路の寸断などで、ガソリンスタンドが営業していない場合があります。



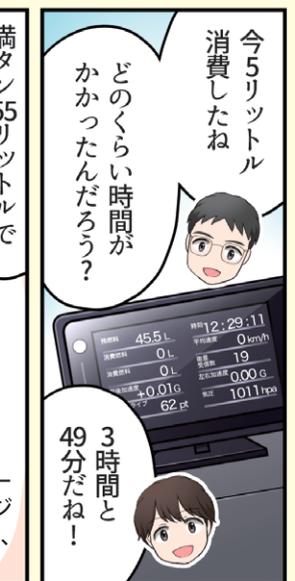
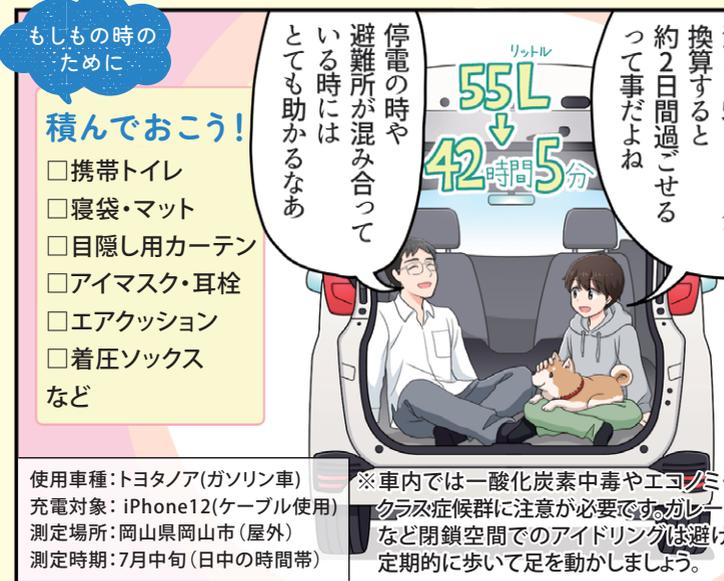
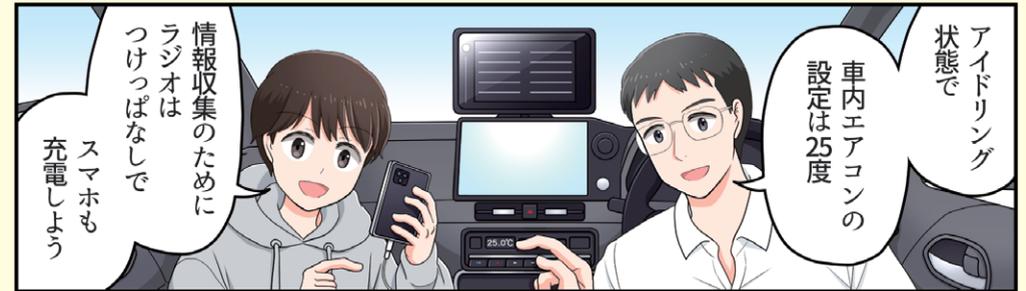
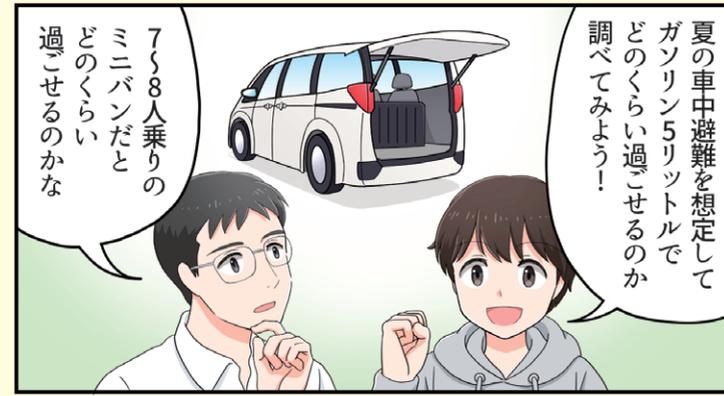
もしもの時
でも

災害に強いガソリンスタンド

ガソリンスタンドは消防法が定める厳しい安全基準でつくられており、建物は不燃構造となっています。また、停電時も営業ができるように全国のガソリンスタンドの半数(約1万5千か所)が緊急用発電機を備えた「住民拠点SS」になっています。

もしもの時のために

「満タン&灯油プラス1缶」で、実際にどのくらい過ごせるか調査したよ!



レンが登場する動画も見てね!

日常の備えがあなたと大切な人の安心につながります

「満タン&灯油プラス1缶運動」推進キャラクターの全石レンが、調査の詳しい内容を動画で紹介しています。

動画はコチラ

電気やガスは災害時、設備の損傷などによって途絶してしまうことがあります。一方、石油製品は可燃性、貯蔵性に優れた災害に強いエネルギーで停電時などに活躍します。

☺ 照明代わりになる

石油ストーブの中には、照明として使える製品もあります。対流型のストーブは40W程度の明るさがあり、停電時や避難所などでも役に立ちます。



☺ 燃料を持ち運ぶことができる

灯油をポリタンクに入れて運べば、被災地で使うこともできます。



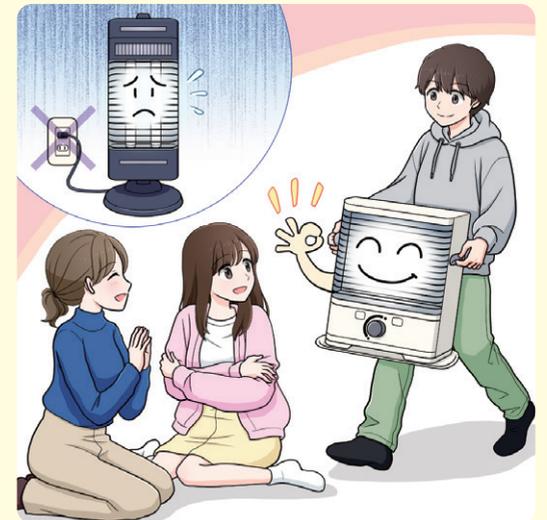
☺ 石油コンロで 煮炊きができる

石油コンロを使えば煮炊きも可能です。電気・ガスがなくても火を使って調理することができます。お湯を沸かすこともできるので、お湯を使う非常食や、小さいお子さんがいる場合、粉ミルクを温めるのにも役立ちます。



☺ 電源不要で、 いろんな場所で使える

石油ストーブがあれば、停電時にも暖をとることが可能です。コンセントがないので持ち運んでどこでも使えます。耐震自動消火装置を備えた製品もあるので、被災地でも安心して使えます。



⚠ 注意

灯油はポリタンクに入れ、火気のない冷暗所でしっかり密栓して保管しましょう。翌シーズンに持ち越した灯油を使うと、機器の故障の原因となることがありますので、シーズン中に使い切ることをおすすめします。

☹☹ 雨



☹☹ 風



☹☹ 日光



☹☹ 二段積み

